

大型船の船長を目指して!

熊本県立苓洋高等学校
海洋開発科海洋コース



熊本丸とブリッジでの舵取り(右上)

本校の海洋開発科・海洋コースに入学すると、大型船の操縦ができる5級・6級海技士の資格を取ることができます。生徒は、本県唯一の実習船「熊本丸(443トン)」に乗り込み、見習いの乗組員としてブリッジで舵(かじ)を取り、乗組員の指導を受けながら将来の船長を目指して操縦テクニックを磨きます。そして、船を安全に走らせるために必要な交通ルールも体験を通して学びます。また、約3ヶ月間、船内で仲間と生活を共にすることで、秩序のある穏やかな人間関係を築くため「自らを

律し他者をいたわる心」など、船乗りにとって特に大切とされる「自主・自立・協同」の精神を養います。

創立以来初の3級海技士合格

3級海技士合格：3名

4級海技士合格：11名

(平成24年度)

※3級海技士の合格者は全受験者の約2割の難関
《高校生の受験自体が珍しい》

このために
改善したこと

- 独自の問題集→個に応じた学習指導
- 校内模擬試験→目標の明確化と学習意欲の向上
- 1年次からの課外→早期目標設定と学習習慣の定着

意識の変化

1年次から明確に船舶職員を目指す生徒が増え、積極的に課外に参加しています。



3級海技士の合格者(H24年度卒)



朝課外の学習風景

日本は周りを海に囲まれており、大型船の船員は様々な他の職業を支えています。海洋開発科海洋コースの生徒は、食を支える漁船船員や物流に携わる内航船員など、将来の船長を目指して、やる気に燃えています。

海技資格と船長になれる船の大きさの関係

海技資格	船舶職員	沿海区域(海岸から約37km)	備考
3級海技士(航海)	船長	総トン数 5,000トン以上	希望により受験
4級海技士(航海)	船長	総トン数 5,000トン未満	
5級海技士(航海)	船長	総トン数 500トン未満	本校を卒業すると、筆記試験免除
6級海技士(航海)	船長	総トン数 200トン未満	